

令和6年度森林公園森の家施設等指定管理者評価委員会 会議録（要旨）

日 時	令和6年6月20日（木） 10：30～12：00	
場 所	静岡県庁別館8階第1会議室A・B（静岡市葵区追手町9番6号）	
出席者	<委員長>	宮城島 史人（ふじのくに観光振興アドバイザー）
	<委員>	荒巻 太枝子（静岡県シェアリングネイチャー協会理事） 井戸 直樹（ネイチャースクール森のたね代表） 船戸 修一（静岡文化芸術大学文化政策学部文化政策学科教授） 眞野 匡雄（静岡県中小企業団体中央会理事）
	ほか、指定管理者及び事務局	
評価対象者	井川森林組合（県民の森指定管理者）	
内 容	令和5年度における指定管理者の取組に対する評価	

【注意】

- ・各発言者の要旨を記載している。
- ・公開に当たり、委員名は特定しない。委員長については、委員長としての発言のみ特定している。

井川森林組合のプレゼンテーションに対する質疑応答

< 質疑応答 >

○委員 自然ふれあい観察会に 180 名の方が参加されていますが、詳細が分からないので教えてください。また、最近クマの報道がテレビを賑わせていますが、クマに関して、来園者から不安の声等がでていないか教えてください。さらに、大学にアルバイト募集のパンフレットを配ったが、あまり効果がなかったという説明がありましたが、県外の大学にも配布をされているのでしょうか。以上 3 点教えてください。

○指定管理者 自然ふれあい観察会ですが、お盆の時期を中心に、8 日間で行っています。森林環境学習指導員の方を講師に招き、午前には 1 回、午後には 1 回行っていますので、全部で 16 回開催しています。園内を講師と一緒に回り、昆虫や危険植物の紹介をしています。雨の日は、ロッジ内でクラフト体験をしています。合計で 180 人の参加がありました。2 点目、クマについて、来園者の方は気にしている方が多く、窓口についた途端にクマの話がされる方がいます。窓口にはクマ鈴の無料貸し出しの掲示をしていることから、危険ではないのかと気にする来園者もいます。キャンプ場内ではクマの確認はありませんが、周辺にいるのは間違いないと思います。3 点目大学へのパンフレット配布ですが、県内の大学には全て配架しましたが、反応はありませんでした。なお、千葉の大学に配架しましたが、アルバイトの募集はなるべく近い場所から来ていただきたいと考え、近隣の大学を中心に配架しています。

○委員 自然観察会のフィールドはどのあたりですか。園内ですか。

○指定管理者 園内です。午前の部と午後の部各 2 時間ほどで、散策時間は 1 時間程度です。園内には池もあるので、カエルやトンボを観察し、残りの 1 時間はロッジでの説明というプログラムです。

○委員 リピーターの方が多いということですが、テントサイトの利用者がまたテントサイトを利用するのか、あるいは次はロッジを利用するケースがあるのでしょうか。

○指定管理者 基本的には同じ施設を利用する方が多いです。去年は、オートサイトをオープンしたため、その情報から、ログハウスやテントを利用していた方がオートサイトを使っていたように感じます。また、去年からロッジの個人利用を再開したことから、コロナ禍でログハウスしか利用出来なかったグループが、ロッジを利用することもありました。

○委員 連泊の割合はどのくらいですか。

○指定管理者 ほとんどの方が一泊二日です。二泊される方もいました。正確な数字は示せませんが、2、3件だったと思います。

○委員 利用者アンケートの回答数が全部で60人でしたが、利用者数は1,000人となっており、サンプル数が少なすぎると感じました。もう少しアンケートを回収することができなかつたのかということが1点。2点目は、自然体験では当たり前かもしれませんが、12～3月は利用者のグラフに入っていなかったのも、この時期は施設を利用できないのでしょうか。全く使えないのか、少しは使えるのか、教えてください。3点目は、小学生を募ったプログラムがありますが、小学校単位で利用はできないのでしょうか。小学校に営業をかけていけば、利用者数が増えると感じました。

○指定管理者 アンケート件数は、サンプル数が少ない結果となっています。ログハウスは、窓口でアンケートを渡しチェックアウトの時に窓口へ寄る必要があるため回収できますが、テントサイトはチェックアウトで窓口へ寄る必要がありません。現在は、アンケートボックスを設置していますが、なかなか集まりません。利用者人数は、1,000人以上ですが、利用組数は、600件ほどで、その中の100件程度回収しています。60件は、新規利用者の回収結果ですので、割合としては少し多いです。2点目、12～3月の利用ですが、県民の森は12月になると雪が降り始めます。道路凍結の心配もありますので、11月第3日曜日をもって閉園しています。県民の森の前の林道も閉鎖しています。個人で散歩されている方がいるかもしれませんが、施設は解放していません。遊具等も、冬は使えないようにしています。最後に、小学校の利用ですが、県民の森のすぐ下に、静岡市の少年自然の家があります。静岡市内のほとんどの学校は、そちらを利用しています。将来的には小学校に営業をかけることも考えられますが、大きな違いとして、食事の提供や体育館施設があり、雨天時の対応が可能です。少年自然の家とは異なる魅力をつけて営業をかける必要があると考えます。

○委員 利用率の推移ですが、各施設の利用料金に差があります。ロッジの利用者が想定より少ない理由を教えてください。また、ロッジの利用は団体利用が向いていると思いますが、ロッジの利用者増に関する対応策を考えているのか、教えてください。

○指定管理者 ロッジの利用者は増えていますが、コロナ禍期の「貸切利用」のイメージが強く、個人利用が可能となったことが利用者に伝わりきらなかったと感じます。令和元年や、平成30年は、六十万円程の利用料金がありましたので、最低でもこの水準まで戻す必要があると考えています。令和6年度からは、貸切利用の営業もしていますが、団体のみではなく、個人でも使えることをPRしたり、梅雨の時期はロッジが使いやすいですよ、などとPRしています。ロッジの利用率を上げるため、営業努力が必要であると感じています。団体利用の方が、維持費も抑えられることから、大学にパンフレットを送る際に、団体利用ができること等を伝えるようにしています。今後は、会社の研修にも使っていただけるよう広報していきます。

○委員 広報誌への配布等をされていますが、有料のものにも出しているのか教えてください。

○指定管理者 有料のものにも出しています。

○委員 小学校の利用の話ですが、少年自然の家には食事の提供や体育館があるが、県民の森では、食事ができない、体育館もないので不便さがあります。ただ、自主事業の自然体験キャンプの中では、子供たちが自炊をしており、売りになるのではと思います。また学校では、先生達が企画・運営することは大変なので、スポーツクラブ、子供会やボーイスカウトの方が、子供達の団体として利用しやすいと思いますので、そちらへPRしてはどうでしょうか。また、自然体験キャンプは子供達が参加していますので、子供達へアンケートを実施し、「自分がこういうところにきて、こういう発見をしたんだ」という子供達の満足度が、PRにつながっていくと思います。子供達からの意見があれば教えてください。

○指定管理者 アンケートは取っていませんが、子供達からはまた来たいと言ってもらえています。子供へアンケートを行うことも良案であると思っていますので、スタッフと相談しながら、アンケートの時間を設定する等をしたと思います。雨のときにプログラムができなくなる等の心配がありますが、下の少年自然の家は、雨の日でも体育館でできるという安心感があるようです。県民の森では、ロッジで対応することを考えたいと思います。問い合わせは何件もあり、スポーツクラブ、子供会、ボーイスカウトから、コロナも収まりましたので、やりたいよと言ってくれる方もいます。営業をかけることまではできてはいませんが、ロッジの有効活用になると思うので検討していきたいと思います。

<評価決定及び講評>

○委員長 議事を再開します。井川森林組組合の評価結果について、各委員の皆様合計点から平均点を計算したところ、87点になりました。静岡県立森林公園園森の家施設等指定管理者評価に関する運用基準に照らし合わせると評価は「優」となりますが、よろしいでしょうか

(異議なし)

県民の森施設指定管理の評価は「優」で決定いたします。

(井川森林組合入室)

○委員長 それでは、評価結果をお伝えします。結果は「優」となりました。最後に各委員から一言ずつ講評をお願いします。

○委員 車の乗り入れや情報発信等、今の時代に併せ、できる限りの工夫をいただいている印象です。議論の中でもでてきた、団体の利用について、団体は目的を持って活動をしています。団体の活動目的が、施設の利用目的に合うかどうかは選択の一つになりますので、PRをするときに、「このように使えますよ」と利用方法や目的を具体的に示すと、選択がしやすいと思います。学生についても、「ゼミでこのように使えますよ」と具体例を示すと良いと思います。また、自主事業で、「木と火と人」の企画がとても良いなと思いました。まさに、井川でないと体験できない活動だと思いますので、参加者にもとてもインパクトがあり、他ではできない活動なので、企画を進めてもらえると良いと思います。

○委員 毎年リニューアルが進んでいる感じがあり、良いと思いました。詳しくは分かりませんが、少年自然の家との関係等も踏まえると、青年層よりも上の層が向いているなどは感じたので、高校生・大学生以上の方を中心に受け入れれば、不便性はあるとは思いますが、そこを活かせば良いと思います。連泊者が少ないことや、井川の集落に立寄る人がいないとの情報もありましたので、井川の魅力を出すには一泊以上の展開を考えても良いと思いました。

○委員 利用者のニーズについて、テントサイトのアンケートの回収が少ないので、回収方法を工夫してください。キャンプブーム以前と客層やニーズに変化があるかもしれませんので、よく分析し、対応してください。オートサイトは、よくニーズを捉えていると思いました。そのようなことを継続していただけたらと思います。2点目は、ログハウスやテントサイトの利用者がコロナ以前に戻っていますが、ロッジの利用が半分程度となっています。コロナにより、利用者の集団行動に対する意識が変わった可能性もありますので、もしそうであれば、その対応をしていく必要があると思います。3点目は、クマについて、マスコミが連日被害を取り上げていると、利用者が恐怖心を抱くことも考えられますので、出没の状況や、出会った場合の対処方法等、適切な情報提供をお願いします。

○委員 数字を見て、コロナが落ち着いて、お客さんが戻りつつあると思いました。希望・ポテンシャルがあると判断します。大学の利用の話がありましたが、生協に、サークルが夏休みの合宿について問い合わせることがオーソドックスな申し込みだと思いますので、生協とリンクさせた方が良いと思いました。大学生協は学生にとって、一番近い窓口ですので、結びつくの良いと思いました。また、Youtubeを確認したら、県民の森の動画が10日前にアップされていました。このようなプロモーション動画を、県民の森を知ってもらうため、積極的に利用した方が良いと思いました。

○委員 毎年レベルアップして、努力が認められ、素晴らしいと思います。その中で、ロッジの利用が極端に低い状況です。また、他の施設に立寄らないというアンケート結果が50件と多数を占めています。他の井川の魅力が伝わっていないのかと逆に思ってしまうので、井川には他の魅力があり、プラスしてこの施設もあるということアピールしていくと、客層が変わってくると思います。連泊がないということでしたが、連泊の場合、シャワーやお風呂がないので女性は特に嫌がります。ロッジにはお風呂やシャワーがあるので、空きを有料で利用させる等しないと、連泊はしないと思います。また、冷たい便座も嫌がりますので、そちらもお願いします。さらに他の施設をぜひご覧になってください。自分の施設だけ見ていると、満足度がそこで終了してしまうので、例えば森林公園など、他の施設と交流し、さらにレベルアップしていただければと思います。

これで、県民の森施設の評価は終了しました。